

# EBC(Evidence-based Control)研究会ワークショップ 2017のご案内

## 日時

2017年9月15日(金) 10時~16時30分

## 場所

東京大学農学部1号館2階8番教室(東京都文京区弥生1-1-1)

<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/campus/keiro.html>を参照下さい。東京メトロ南北線東大前駅から徒歩1分

## 参加申し込み

下記事務局に8月25日(金)までに電子メールにてお願いします。申し込みをされた方には講演要旨(PDF)をダウンロードできる方法を電子メールにてご案内します。印刷して当日ご持参ください。

## 参加受付

東京大学農学部1号館2階8番教室(ワークショップ会場)にて受け付けます。参加費および情報交換会費(出席される場合)を徴収させていただきますので、予めご用意をお願いします。

## 参加費

参加費 2,000円(学生, 大学院生は1,000円)

## 情報交換会

JR上野駅周辺にて17時30分より予定しております。会費は5,000円程度を予定しています。出席ご希望の方は、参加申し込み時にお申し出下さい(定員になり次第締め切らせて頂きます)。

## プログラム

### 10:00 開会

第一部 第12回日本学術振興会賞並びに第12回日本学士院学術奨励賞受賞記念講演(座長:根岸)

10:00~12:00 植物病害ブドウ根頭がんしゅ病の生物的防除法の開発

—基礎から応用までを横断的に行った新しい病害防除研究—

川口 章((国研)農研機構・西日本農業研究センター)

世界初となる、ブドウ根頭がんしゅ病の実用的な生物的防除法の開発は、基礎と応用の両面からの研究が必要不可欠でした。有望菌株の選抜、繰り返し確認した圃場での防除試験、そして防除メカニズム解明への挑戦といった、一連の研究の流れを紹介し、実用技術開発のための研究戦略について考察します。

12:00~13:00 一昼食—

第二部 招待講演:農業現場における役立つエビデンスを得るためのセンスを磨く(座長:池田)

13:00~13:50 土着天敵が多い農地景観の特徴を探る:景観スケール解析の重要性

馬場 友希((国研)農研機構・農業環境変動研究センター)

近年、圃場内の土着天敵の密度や多様性を高めることによって、害虫密度を抑制するという害虫防除技術の開発が進められています。一方、天敵個体群は、生息地となる周辺環境からの移入によって維持されるため、周辺環境から受ける影響にも目を向ける必要があります。そこで、本演題ではヒメハナカメムシ類やクモを対象とした研究事例を元に、天敵個体群に対する景観要因の影響を解析する手法について紹介したいと思います。

13:50～14:40 夏季のエルニーニョ現象の発生は水稲作柄に影響するのか？

岩館 康哉（岩手県農業研究センター）

夏季にエルニーニョ現象が発生すると予測された場合、冷害になるかのような報道がなされる傾向にあります。しかしながら、国内において、本現象の発生が当年の農作物被害に結びつくという報告はほとんど見当たりません。つまり、本現象の発生が予測された場合に、どのような現場対応をすべきか判断するための科学的根拠が乏しい状況です。そこで、本演題では、水稲の作柄と本現象発生との関係を解析した結果を紹介します。

14:40～14:50 一休憩一

第三部 ショートトーク（座長：岩館）

14:50～15:10 ネギ黒腐菌核病に対するシメコナゾール粒剤の防除効果

池田 健太郎（群馬県農業技術センター）

15:10～15:30 観察研究と実介入研究によるナシ赤星病の多発要因解析ーDMI 剤は効いているのか？ー

菊原 賢次（福岡県農業総合試験場）

15:30～15:50 ムギ類黒節病に対する種子消毒剤の防除効果の評価

森 充隆（香川県農業試験場）

15:50～16:10 福島県におけるモモせん孔細菌病の発生助長要因

七海 隆之（福島県農業総合センター果樹試験場）

16:10～16:30 モモせん孔細菌病に効果のある殺菌剤の客観的な選び方ーメタアナリシスの活用ー

川口 章（(国研)農研機構・西日本農業研究センター）

16:30 閉会

17:30 情報交換会

参加申し込み及び問い合わせ先：日本植物防疫協会茨城研究所 沼田京太(k-numata@jppa.or.jp)

#### 【お知らせ】

ワークショップ前々日の9月13日（水）には、公益社団法人報農会主催のシンポジウム「植物保護ハイビジョン-2017 シンポジウム 加速するグローバル化に対応する IPM の進展」（場所：‘北とぴあ’つつじホール（東京都北区王子 1-11-1））が、翌9月14日（木）には、一般社団法人日本植物防疫協会主催のシンポジウム「薬剤施用法を考える」（場所：日本教育会館「一ツ橋ホール」（東京都千代田区一ツ橋 2-6-2））が開催されます。